

第1回新居浜市景観計画策定委員会

- 1 日時 令和元年10月4日(金) 14:00～15:30
- 2 場所 新居浜市役所 本庁舎4階 41会議室
- 3 出席者 (委員) 八木雅夫、松本辰治、横山泰茂、伊藤幸男、和田輝世伸、神野和彦、
秋山卓嗣、織田安文、鴻上八大、太田初、丹一仁、宮崎司、桑原一郎
(市)新居浜市長 石川勝行、建設部長 高須賀健二、都市計画課長 神野幸彦、
都市計画課技幹 鳥嶋武彦、都市計画課副課長 神田紀香、
都市計画課調査計画係長 三並真由美、都市計画課主任 帆谷麻衣
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 3名
- 6 議題
 - (1) 基調講演 景観計画について 講師：愛媛県景観形成アドバイザー 郡司島 宏美
 - (2) 新居浜市景観計画策定委員会委員の委嘱及び委員長の選任
 - (3) 新居浜市景観計画策定について
 - (4) その他

7 議事録

事務局 (神野課長)	<p>定刻が参りましたので、ただ今から第1回新居浜市景観計画策定委員会を開会いたします。</p> <p>本日は、委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私、当委員会の事務局を担当いたします、都市計画課の神野でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本来は、委員の委嘱式等を行いましてから基調講演をするところですが、諸事情によりこのようなスケジュールとなっておりますこと、また、庁舎改修のため、手狭な会議室での会議となっておりますことを、お詫び申し上げます。</p> <p>それでは、まず、資料の確認をさせていただきます。事前にお送りしております資料が、次第、委員名簿、委員会設置要綱、委員会資料でございます。本日、お配りしておりますのが、基調講演の資料、アンケート、生野鉦山と鉦山の町の文化的景観保存計画書《概要版》、配席表でございます。</p> <p>なお、本会につきましては、新居浜市審議会等の公開に関する要綱の第3条に基づき、原則として公開とさせていただきますのでご了承ください。</p> <p>申し訳ありませんが、会次第を変更させていただきまして、先に、委員の皆様のお紹介をさせていただきます。</p>
---------------	--

<p>事務局 (神野課長)</p>	<p>お手元にお配りしている「新居浜市景観計画策定委員会委員」の名簿の順にお名前をお呼びいたしますので、簡単に自己紹介をお願いします。</p> <p>(名簿順に紹介)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、策定委員会の事務局職員を紹介いたします。</p> <p>(順に自己紹介)</p> <p>それでは、お手元にお配りしております会次第に従いまして、基調講演に移らせていただきます。</p> <p>本日ご講演をいただきます、愛媛県景観形成アドバイザーの郡司島 宏美 先生のご紹介をさせていただきます。</p> <p>愛媛県では、景観に関して専門的なアドバイスをいただける「景観形成アドバイザー制度」を平成23年4月から始めており、制度開始当初より、景観形成アドバイザーとして、ご活躍されている郡司島 宏美 先生は、京都市のご出身で、奈良女子大学で住居学をご専攻されております。</p> <p>平成8年に松山市に移住され、松山東雲短期大学や、愛媛大学において、大学教育を行う一方で、まちづくりや文化芸術支援のNPO活動にも関わり、様々な人材育成に携わってこられました。</p> <p>現在は、愛媛大学社会連携推進機構南予水産研究センターの客員准教授をされております。</p> <p>それでは、よろしく申し上げます。</p> <p>(講演)「景観まちづくりを進めるために」</p> <p>郡司島先生、ありがとうございました。</p> <p>なぜ、景観まちづくりなのか、市全体のイメージアップから考える視点と、居住環境を良好にし、結果として地域づくりにつながる視点の両方から、景観計画の必要性をお話していただきました。</p> <p>それでは、以上を持ちまして基調講演を終わります。このあと、午後3時まで休憩をいたします。</p> <p>(休憩)</p> <p>3時の5分前でございますが、皆さんお揃いのようなので、始めさせていただきますのでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次第3 新居浜市景観計画策定委員会委員の委嘱及び委員長の選任を行います。</p> <p>まず、委員の委嘱にあたりまして、石川市長が御挨拶を申し上げます。</p>
<p>石川市長</p>	<p>(市長あいさつ)</p>

<p>事務局 (神野課長)</p>	<p>次に、委嘱状の交付を行います。本来でしたら、お一人お一人に委嘱状をお渡しするところですが、代表して 八木 雅夫 様に石川市長より委嘱状をお渡しいたします。八木様、前の方へお願いいたします。</p> <p>(市長が委嘱状をお渡しする)</p> <p>ほかの委員の方々への委嘱状はお席の方にお配りしております。</p> <p>次に、あらためまして、委員の御紹介をさせていただきます。</p> <p>お手元にお配りしている「新居浜市景観計画策定委員会委員」の名簿の順にお名前をお呼びいたしますので、簡単に自己紹介をお願いします。</p> <p>(名簿順に紹介)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、策定委員会の事務局職員でございますが、先に自己紹介をいたしましたので、割愛させていただきます。</p> <p>次に、皆様にお配りしております、新居浜市景観計画策定委員会設置要綱をご覧ください。</p> <p>この要綱は、市民、事業者、行政が一体となって景観形成を図ることができる景観計画(案)を策定するため、委員会を設置し、委員会の事務所掌や組織等について定めたものでございます。</p> <p>本日の委員会は、委員13名全員の参加となっており、委員の半数以上が出席しておりますことから、「新居浜市景観計画策定委員会設置要綱第5条第2項」に基づく本策定委員会の開催要件を満たしておりますことを御報告いたします。</p> <p>次に委員長の選出を行います。「新居浜市景観計画策定委員会設置要綱第4条」により委員長を互選により選出していただきたいと思いますと思いますが、どなたか立候補される方又は推薦される方はおられますか。</p> <p>【「事務局案はないのですか」との声】</p> <p>ただ今、太田委員より「事務局案はないのですか」との意見がございましたが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>【異議なし】</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>皆様からご賛同いただきましたので、事務局案と致しましては、学識経験を有しており、建築、都市計画が御専門で、景観行政に精通されている八木委員に委員長をお願いしたいと考えておりますが、委員の皆様いかがでしょうか。</p> <p>【拍手】</p> <p>皆様からご賛同いただきましたが、八木委員様、いかがでしょうか。</p>
<p>八木委員</p>	<p>お引き受けいたします。</p>
<p>事務局 (神野課長)</p>	<p>ありがとうございます。それでは、委員長を八木委員にお願いいたします。それでは、委員長の席へ移動していただけますでしょうか。</p>

<p>八木委員長</p>	<p>ここで、八木委員長に一言ごあいさつをお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>市長さんが、景観を専門にしているから、呼んでくれ、と行って来たわけではなく、たまたま、来たのが新居浜高専です。4月に明石高専から異動してきて、その時代に、「生野鉦山と鉦山まちづくりの文化的景観保存計画書《概要版》」という、お手元にお配りしている計画や、平行して、この生野鉦山が所在する朝来市の景観計画の策定に、どちらも副委員長格で関わってきました。生野鉦山は文化庁の重要文化的景観に選定されましたし、景観計画の中でも景観形成地区として位置づけられています。</p> <p>そういった経過を見てきていますので、それ以上にすばらしい別子銅山ですから、もっといい計画ができるのではないかと考えていますし、もっと皆さんに知ってもらう方がいいと思っています。たまたま、世界に発信していこうということで、今回、台湾にいる友人たち一行が30人ほどで、この10月18日に来るということで、東平まで案内します。そういう機会をとらえて、新居浜のいいところをいっぱい紹介していきたいなど、そんな心づもりで委員長をつとめさせていただきますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>事務局 (神野課長)</p>	<p>ありがとうございました。八木委員長様、よろしくお願いいたします。</p> <p>申し訳ありませんが、この後、市長は公務のため退席をさせていただきます。</p> <p>(市長退席)</p> <p>それでは、これから議事に移りますが、「新居浜市景観計画策定委員会設置要綱」第5条第1項に基づき、委員長に議長をお願いします。</p>
<p>八木委員長</p>	<p>それでは、会次第の3、新居浜市景観計画の策定について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (神田副課長)</p>	<p>(資料に基づき、事務局説明)</p>
<p>八木委員長</p>	<p>事務局より、「新居浜市景観計画策定」について、計画策定の目的から策定のスケジュールまで説明がありましたが、本日は時間の関係で景観計画の策定の目的等の説明、課題の提案のみとさせていただきます、本格的な質疑や意見交換は、第2回の策定委員会からとさせていただきます。</p> <p>最後に「その他」として事務局よりお願いします。</p>

<p>事務局 (神田副課長)</p>	<p>それでは2点、お伝えいたします。</p> <p>1点目は、机の上にお配りしておりますアンケートですが、次回の策定委員会の資料作成の参考にさせていただきますので、今日、記入して机の上に置いて帰っていただくか、10月11日金曜日までに都市計画課まで提出していただきますようお願いいたします。</p> <p>2点目は、第2回の策定委員会は11月21日(木)に開催する予定でございます。正式な案内文書は11月11日(月)頃に送付いたしますので、よろしくようお願いいたします。</p>
<p>八木委員長</p>	<p>委員の皆様には長時間にわたりまして、大変お疲れさまでございました。以上で、本日の新居浜市景観計画策定委員会を終了いたします。</p>
<p>和田委員</p>	<p>すみません、最後に一つ質問をよろしいですか。この調査区域に筏津がなぜ入っていないのですか。説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (神野課長)</p>	<p>まずは、調査対象区域ということで、たたき台ということで示したものでございます。それぞれの地区で、特性や課題があろうかと思いますが、先ほどアンケートの説明をいたしましたので、そういったところを要望として書いていただきましたら、検討をしてみたいと思います。この先、子孫に残していきたい原風景、景観として、このような調査対象区域にさせていただいておりますが、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>また、第2回以降の委員会においても、忌憚のない意見をよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>旧別子の方も、このままでは荒れていきますので、保存について考えていただきたいと思います。</p>
<p>事務局 (神野課長)</p>	<p>はい。検討させていただきます。本日は、長時間にわたり、どうもありがとうございました。</p>